

実効性のある集約化施業の推進

政策提言先 林野庁

政策提言の要旨

効率的な集約施業を加速するための実効性のある施策・支援策の展開について提言をいたします。

【政策提言の具体的内容】

森林所有者の同意・境界確定、事業体の育成など集約化を加速するソフト施策の充実と一元化が必要だと考えます。

このため、以下の内容について、提言をいたします。

- ・ 利用しやすい総合対策として、集約化に取り組む森林組合等への森林管理、情報収集、人材育成等のソフト対策の拡充、一元化。
- ・ 森林組合とのジョイントによる新規（異業種）事業体の参入促進のため、森林施業や木材生産技術等の習得への支援策の充実。

【政策提言の理由】

- ・ 集約化に取り組む森林組合等にとって、現状のソフト面の支援制度は多くの事業で制度化されていますが、取り組む森林組合等の経営基盤は脆弱で、積極的に取り組むほど自己負担が大きくなるため取り組み難い状況にあります。
このため、ソフト対策の支援を拡充、一元化することによって経営上の不安なく、集約化に取り組むことが期待できます。
- ・ 森林組合とのジョイントによる新規（異業種）事業体が参入する際の経費が軽減され、スムーズな参入・定着が期待できます。
- ・ 集約施業地が拡大することにより、生産コストの大幅な低減や地域雇用が創出され地域経済の活性化が期待できます。